

ハワイ直行チャーター便 本社訪問団が出雲出発

馬場庄一郎支店長（左）から花束を受け取る参加者代表の女性＝出雲市斐川町沖洲、出雲空港



創刊135周年記念で39人

出雲空港（出雲市斐川町沖洲）から米国ハワイの玄関口、ダニエル・K・イノウエ国際空港（旧ホノルル国際空港）へ直行するチャーター便が5日、3年ぶりに就航した。同国際空港へのチャーター便は、日本航空が今年、国内の地方空港

から運航する2便のうちの1便。中型機のボーイング767に県内外の141人が搭乗し、出発した。

このうち、山陰中央新報社が本紙創刊135周年を記念して企画したハワイ訪問団には39人が参加。10日までの6日間、ハワイ州の

オアフ島などに滞在し、各地を巡る。滞在中は有志が、現地で人気を集める島根県産品の流通現場などを視察。リゾート地ならではのゴルフコースを使った山陰中央新報社杯のゴルフコンペも計画され、参加者が交流を深める。

5日は出雲空港で就航記念セレモニーがあり、日本航空山陰支店の馬場庄一郎支店長が参加者代表の女性に花束を手渡し「ハワイでの滞在を楽しまれることを心よりお祈りします」とあいさつ。山陰中央新報社が主催した訪問団の団長を務める同社の松尾倫男社長は「体や日焼けに気を付け、存分に楽しみましょう」と呼び掛けた。

出雲空港を発着するハワイへの直行便の就航は2012年3月、14年2月に続き3回目。

（園慎太郎）